

他施設共同研究「透析患者における α 1-microglobulin 除去率が生存・合併症予後に与える影響の検討」へのご協力をお願いいたします。

当科は、NPO 法人 HDF 研究会、NPO 法人 HPM 研究会、I-HDF 研究会が実施する透析関連データベース事業に参加しています。

この事業は、上記研究会関連施設の透析患者情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すプロジェクトです。

具体的には、日常診療で行われている透析条件、検査値のデータに加え、残余血清（採血後の余った血清）を用いて、透析では除去が困難とされている α 1-ミクログロブリンを測定します。

この事業を通じて、患者さんにより適切な医療を提供するための透析条件が検討できるだけでなく、当科が患者さんに最善の医療を提供するための参考となる情報を得ることができます。何卒趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1. 透析関連データベース事業に登録する情報の内容

日本透析医学会の年末の全国統計調査のタイミングで調査を行います。当科で行われた透析治療に関する情報を登録します。患者さんのお名前を登録することではなく、氏名とは関係のないIDを用いて登録します。IDと患者さんを結びつける対応表は当科で厳重に管理し、研究本部には提供しません。

2. 登録する情報の管理・結果の公表

登録する情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。

当科及びNPO 法人 HDF 研究会、NPO 法人 HPM 研究会、I-HDF 研究会では登録する情報の管理にあたって、情報の取り扱いや安全管理に関する法令や取り決め（「個人情報の保護に関する法律」、「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等）を遵守しています。

データの公表にあたっては、NPO 法人 HDF 研究会、NPO 法人 HPM 研究会、I-HDF 研究会が承認した情報のみが集計データとして公表されます。登録するデータがどなたのものであるか特定されることはありません。

3. 登録の拒否や登録情報の確認

データを登録されたくない場合は、登録を拒否して頂くことができます。当科のスタッフにお伝えください。

また、登録されたご自身のデータの閲覧や削除を希望される場合も、当科のスタッフにお知らせください。なお、登録を拒否されたり、閲覧・修正を希望されたりすることで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

本事業への参加に関してご質問がある場合は、当科のスタッフにお伝えください。また、より詳細な情報は下記に掲載されていますので、そちらもご覧ください。

NPO 法人 HDF 研究会ホームページ、<http://hdf-j.jp/index.php>

甲南医療センター 腎臓内科
部長 藤森 明